

【記者からの質問】

1. 新たな佐賀の日本一について

STS／新たな佐賀の日本一をどのようにPRするのか。

知事／まず、県民と共有したい。国スポ・全障スポの来県者に、佐賀の文化や歴史、伝統、食べ物と併せてPRしてほしい。面白いネタを用意するので、県民の皆さんは佐賀の観光大使になってもらいたい。そのためにも、まずは県民の皆さんに周知したい。

2. 県立大学について（その1）

STS／7月中旬に発表予定の県立大学の場所は決まったのか。

知事／発表できる段階ではない。検討中。

STS／場所が決まっていないのか、発表できる段階にないのか。

知事／現在、検討遡上。途中経過は言えない。もうしばらくお持ちいただきたい。

3. 九州新幹線西九州ルートについて（その1）

STS／知事は、与党検討委員会を欠席すると聞いた。

知事／6月末に与党PTから、日程を絞って出席者の登録依頼がきた。不確定要素を抱えた案件もあり、知事として登録は難しく、南里副知事に30日の出席をお願いした。

南里副知事とは、新幹線問題の議論を尽くし、趣旨も理解してもらっている。南里副知事が、自分の考えで話してもらったらい。委員会の前に、意見交換はする。

STS／長崎県知事も欠席と聞いている。委員会に両県のトップが出席しないことへの所感を。

知事／長崎県の欠席は初めて聞いた。与党PTでの内容が不明なので、私からは何とも言えない。

先日、北陸新幹線の建設費が、約2倍になったとの報道があった。新鳥栖から武雄温泉間は1.6倍で計算して1,400億円以上。この問題は慎重にいくべき。禍根を残すような決断をするべきではないと再認識した。

4. 玄海電子力発電所について

STS／18日、九州電力社長が訪問された際、知事は原発を視察したいと発言。目的を聞かせてほしい。

知事／再稼働前に視察に行った。その後、特重施設や緊急対策棟など、様々な整備が行われ、現在の状況を自分の目で確認したかった。5月に、担当部局にはそろそろ行くと伝えていた。

たまたま池辺社長が来られ、日程も近づいていたので、社長がいなくてもその日になれば急に行く、と伝えるのがマナーだと思ったので。

5. 九州新幹線西九州ルートについて（その2）

時事通信／これまで、佐賀県と長崎県の副知事同士の話し合いやJRを交えての三者のトップ会談が行われてきた。その枠組みで、新たに話し合う予定は？

知事／与党PTが終わったら、JR九州とも今後の展望も含めて意見交換する機会をつくりたい。

時事通信／議会で、国との幅広い協議を非公開で実施することを国交省に提案した、との発言があった。その後、国からの返事は？

知事／日程については、調整中と聞いている。

6. 新型コロナウイルス感染症について

時事通信／新型コロナウイルス感染者が増加。現在の対策状況を教えてほしい。

知事／現在は、部対応。ウイルス自体の危険性は少ないと判断している。今後、危険な兆候が見られたら、迅速に対応し、全庁的な体制を取る。

7. 国民スポーツ大会について（その1）

朝日新聞／国スポは、手挙げ方式でやればいいとのことだった。これは、全国知事会で議論があったのか。あるいは担当部局内で、知事会で提案すべきとの話になったのか。

知事／まったく個人的な見解。やりたくない県があるのかと思った。無理やりするのは、県民にとっても不幸。お金がかかるのでやりたくないが順番だから、というのは違和感がある。

全国的なイベントには手挙げ方式が多い。県が意見を提出したのではなく、私個人の考え。

朝日新聞／知事は副会長なので、提案するお考えは？

知事／各都道府県の考えはわからない。財政的に緩和されたらもっと楽しいのに、と考えているかもしれない。自分が集約して、何かを動かすところまでは至っていない。

今は、国スポ・全障スポの新しい大会のことで頭がいっぱい。失敗もあるだろうが、それを次の滋賀県、青森県、宮崎県が活かしてくれたらいい。

8. 九州新幹線西九州ルートについて（その3）

朝日新聞／与党ヒアリングの場で、佐賀県の立場として主張したいことは？

知事／佐賀県の考え方はこれまでも発言してきた。基本的には、我々の新幹線との向き

合い方を話す。

先だっの報道でもミスリードがあった。もともとフルで、佐賀県が合意しないから暫定開業で武雄から長崎ができたとの報道。真実は、フリーゲージの開発が遅れるので、長崎県がどうしても先行してフルで始めたいと、それに合意しただけ。

事実に基づき議論を積み重ねていくべきだ。

朝日新聞／政府・与党、国会議員がいる場だからこそ出せる要望をしないのか。知事／こちらが打開する話ではない。佐賀県の鉄道環境は悪くない。交渉の主体は我々ではない。その環境をつくるのは、ほかの主体だと思う。

9. 県立大学について（その2）

佐賀新聞／県立大学の発表は、臨時会見で行うのか。

知事／臨時会見で。

10. 選挙ポスターの掲示について

佐賀新聞／東京都知事選の掲示板に対する所感と、何か対応をお考えか。

知事／掲示板があると選挙の雰囲気が出る、という意見もあるが地域によって違う。

都会の多くの場所に掲示板を設置できる東京都と地方の供託金は、同額の300万円。地方に裁量を与えるやり方があっていいのではないか。国会議員は公職選挙法できちんとやるべきだが、地方選挙は大枠を決め、地域の実情に応じて条例で決めてもいい。

佐賀新聞／佐賀県としてはどうか？

知事／現在問題になっていることに関する条例をつくる考えはない。

11. SAGA2024 全障スポについて

毎日新聞／全障スポについての新たなコンセプトをどうお考えか。

知事／例年の全障スポに、佐賀県はなかなか出場できない。今回は、開催地枠で出られるため、全種目出場するよう仲間を募った。最初は何もできない素人集団が、1点とれたり、1セットとれたり成長する姿を見て必要性を感じた。

外に出たがらない障害者が多く、人が足りないから出ておいでよ、という仕掛けも大事。生き生きしている姿を見て、このような大会は大切だと思った。

全障スポは3日間の大会で、出場者が限られている。九州ブロック大会からは、1団体だけ。短い期間のため、閉会式にはほぼ全員参加するすばらしさもある。もっと多くの人に参加し、生きがい、やりがい、社会参加が広がる形になるといい。

SAGA2024では、全障スポの映像を全国配信する。大勢の皆さんに観ていただき、元気を与え、佐賀大会よかったなと思えるものを目指したい。

12. 国民スポーツ大会について（その2）

読売新聞／先ほど、国スポをやりたくない県もあるのでは、という個人的な見解のお話があった。他県の話聞き、そのような感想を抱かれたのか。

知事／いいえ。会長発言の、在り方を見直し場合によっては廃止、という話には違和感をもっている。順番だからやるのではなく、準備ができたならやろうというスタンスでもいいのではないか。

多様化が叫ばれる世の中で、順番だからというルールの下ではなく、都道府県に自由度を持たせればいい。

SAGA2024を検証する上でも、47都道府県の知事にはぜひ来ていただきたい。

13. 唐津市沖の洋上風力発電について

西日本新聞／洋上風力発電への思いや期待を。

知事／再生エネルギーで電力を賄えたら、これほどすばらしいことはない。現状は不安定さがあるため、玄海原発を再稼働させ安全性には気を使っている。

海中に40本の風車を建てるため、景観の問題や漁協からの懸念の声もあった。丁寧に進めていく中で理解が進み、法定協議会を国に要請することになった。

今後、法定協議会ができるのか、できた上でどうなるのかは未知数。再生可能エネルギーを推進したい思いがあり、洋上風力発電を進めることにした。

14. 九州新幹線西九州ルートについて（その4）

西日本新聞／PTが終わったら、JR九州とお話したいとのこと。どのような観点からか。

知事／これまでは国や長崎県と話すことが多かった。JR九州とは、事業の採算性を含め根詰めして話したことがなかった。経済効率性や考えを聞いておくのは、今後に利すると思った。

15. SAGA2024 国スポ・全障スポについて

NHK／新しい表彰制度のMVPは、評価する特別専門員をおくのか。

知事／表彰の方法は、競技団体と相談して決めている。MVP方式を取るホッケー協会やハンドボール協会は、各競技の協会がスタッフを入れて選考したり、監督推薦だったりする。この方式をとらない協会もある。いろんな形があっていい。

NHK／対象の競技が、今後増えることは？

知事／すでに決定している。

佐賀大会の表彰方法を後催県が続ける必要はない。国スポ・全障スポは、それぞれの県で考える祭典になればいい。

16. 県立大学について（その3）

NHK／大学の設置場所と拠点場所は、使い分けしているのか。

知事／早くスタートしたいため、拠点性があればという趣旨で拠点と言っている。1つの拠点のみではなく、全県的にフィールドワークできるよう連携する施設を設置したい。

長崎県大のキャンパスは2つ、佐大は3つ、西九州も3つと複数ある。県立大学は、もっとあってもいい。あくまでも1つの拠点として、市町に学部を増設するなど柔軟性があってもいいのでは。

NHK／臨時会見で発表する設置場所は、拠点になるのか。

知事／拠点について説明する。

17. 産業創出について

日刊工業新聞／全部過疎地域の産業創出など、人口を増やすために何かお考えか。

知事／県東中部地域に良質な産業団地を創出できるかが課題。九州は拠点性に優れ、佐賀の立地に対しての関心が集まっている。

そこで大切なのは、電力と水。洋上風力の話が進めば、関連産業として唐津港や伊万里港など様々な地域に波及効果がある。可能性が増してきた。

18. 熊本県知事の就任について

日刊工業新聞／熊本県の木村知事は、同じ総務省の出身。半導体産業の連携などのお話があれば。

知事／木村知事とは上司と部下の関係で、鳥取でも一緒だった。いい知事になると思う。熊本はTSMCも含め、楽しみだが難しい課題も抱えているため、九州全体を考えながら進むのが大事だとアドバイスした。

九州全体の繁栄を含め議論していきたい。九州知事会では、皆が意見を出し合い、個性を大切にしながら連携しているのが強み。

九州の成長の中で、熊本県は大きな役割がある。木村知事には大いに期待している。